

## 地域福祉分科会

議案第49号 令和2年度鈴鹿市一般会計決算の認定について

### 市民相談の実績とコロナ禍の影響

○市民相談事業費 646万3,147円

**質疑** 令和2年度の相談件数、相談内容はどのようなものか。また、コロナ禍の影響はあったか。

**答弁** 相談には専門相談と一般相談がある。このうち、専門相談には弁護士による法律相談や交通事故相談、行政相談委員などによる総合相談があり、法律相談が383件、交通事故相談が27件、総合相談が135件で、合計545件の相談があった。

また、一般相談は職員が電話や窓口で対応するもので、2,410件の相談があった。

相談内容は、最も多かったのが相続・遺言・贈与に関することで550件、次いで離婚に関するものが223件、登記・売買に関するものが177件であった。

なお、行政部局別の相談において、生活保護や新型コロナウイルス感染症に関することなど、健康福祉部関係の相談が多くあったことから、コロナ禍の影響があったと考えられる。



市民相談の様子

### 子育て世帯に配布した鈴鹿サーキット無料券の実績

○新型コロナウイルス感染症対策児童福祉事業費／子ども支援事業費 2,229万7,390円

**質疑** 事業の実施結果はどのようになったか。

**答弁** この事業は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、学校が休業になる中、自粛やステイホームに協力していただいた児童や保護者に本市の魅力を再発見していただくとともに、遊園地などの経済活動の回復への寄与を図る目的で、鈴鹿サーキットの無料券を配布した。利用実績は、子どもが11,487人で、対象児童数の約53%となる。事業の趣旨を鑑み、広報やホームページなどでPRを行ったほか、転入者やチケットを紛失された方にも郵送などで柔軟に対応した。年始からは、三重県緊急警戒宣言が発出されたことにより、利用者数が伸び悩んだが、緊急警戒宣言の解除や利用期限を春休みまで延長したことにより、3月の利用者は増加した。